

第23回 「京都ものづくりバレー研究会」(8月20日開催)
ご案内とご参加のお願い

京都大学 経営管理大学院
経営研究センター長
教授 若林靖永

京都大学経営管理大学院
「京都ものづくりバレー構想の研究と
推進 (JOHNAN) 講座」担当
客員教授 松浦恭也

拝啓 ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

京都大学経営管理大学院では、2017年4月よりJOHNAN株式会社(京都府宇治市)による寄附講座『京都ものづくりバレー構想の研究と推進 (JOHNAN) 講座』を設置し、京都地域開発に関する研究・教育と啓発に取り組んでいます。その活動の一貫として「京都ものづくりバレー研究会」を定期的に開催しており、各方面からの広い参画をお願いする次第です。

つきましては、次回(第23回)研究会を下記の通り開催致します。ご多用のこととは存じますが何とぞご参加いただき、本研究・実践活動の推進にご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 研究会概要

8月の研究会は、株式会社VMCの永原明氏をお招きし、「物理エンジンが拓く運動シミュレーションソフトウェアの可能性」と題して、物理エンジンを使った新しいビジネスの事業モデル構築から展開、事業拡大までの経緯をお話しいたします。

2. 開催日時・場所

【日時】 2019年8月20日(火) 18時30分～21時00分

【会場】 京都大学吉田キャンパス内 国際科学イノベーション棟東館1階ラウンジ(次ページ地図の69番)

【テーマ】 「物理エンジンが拓く運動シミュレーションソフトウェアの可能性—自律で動くロボット、建設機械の開発に貢献するツールの現状」

【議題提供】 永原明氏(株式会社VMC)

3. ご出欠について

本通知をお送りいただいた方にご出欠の旨をお伝えいただくか、本講座の松浦・上野まで直接ご連絡いただけますと幸いです。(研究会事務局メール: info@kmv.kyoto)

4. 次回研究会について

日程は9月第3火曜日(17日)の予定です。改めてご案内させていただきます。

5. 『京都ものづくりバレー構想の研究と推進 (JOHNAN) 講座』について

本講座は、近い将来この地に世界に冠たる「京都ものづくりバレー」を実現することを目指して設置されました。新商品開発の試作から量産に至る製造一環支援をグローバルレベルで提供する京都地域開発に関する研究・教育と啓発を主目的とし、商品開発ならびに起業に焦点を当てた事業デザイン、試作を含めたプロダクト・リアライゼーション、さらにはインキュベーションとアクセラレーションまで含めた「産業エコシステム」を、グローバルレベルかつ京都に相応しい形で実現すべく、米国シリコンバレーに代表される世界の産業エコシステムから学びつつ、各企業および団体と連携しながら、実践的な研究活動を進めています。

【ご参考】 <https://www.gsm.kyoto-u.ac.jp/ja/news-event/news.html>

以上

京都大学吉田キャンパス
国際科学イノベーション棟 (69番)

